

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セラピーファームめぐたま 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	R7年2月17日 ～ R7年2月26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R7年2月17日 ～ R7年2月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用している子ども達の満足度が高く、保護者からも高評価を得ている	子どもの姿をよく観察し、そこからやりたいことや意欲を持てる遊びなどを提供している。ファームではその子の成長に応じた難易度の課題を設定し、飽きないように自己の成長を実感できるよう配慮している。	こども園の子ども達とのインクルーシブな暮らしの中で、仲間との関わりや感情の表現、感動の共有など、多様な体験を積み重ねていけるよう常に工夫していく。
2	保護者との信頼関係ができています。	保護者との連絡や子どもの姿をグループLINEを通して行っているため、その日のうちに共有している。	子どもの成長を動画や静止画、または日々の会話の中で共有し、小さな変化や成長を見逃さずに、保護者と共有しながら喜びや課題を共に味わっていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員の配置や人数に限りがある。	有資格者の採用や適性のある人の配置に苦労している。	今後は環境整備や送迎など、外部でできるところは委託し、指導員は子どもとの暮らしに集中できるようにしていきたい。
2	外部との連携会議や講習会等に参加する機会が少ない。	外部の会議に出ていく時間的余裕がない。	事前にスケジュールがわかっている会議や講習会にはシフト等でやりくりして何とか参加する機会を増やしていきたい。
3	保護者同士の交流が少ない。	単独での保護者とのやり取りは頻繁にしているが、保護者同士が交流する機会がない。	親子で参加できるイベントの企画や外部イベントへの参加を通して、保護者同士の交流機会を提供していきたい。